

# ウォーク・ザ・ライン 君につづく道

2005(平成17)年12月8日鑑賞(ソニー試写室)

★★★★



監督＝ジェームズ・マンゴールド／出演＝ホアキン・フェニックス／リーズ・ウィザースプーン／ジニファー・グッドウィン／ロバート・パトリック／シェルビー・リン／ダラス・ロバーツ (20世紀フォックス映画配給／2005年アメリカ映画／136分)

……多くの日本人はエルヴィス・プレスリーは知っている、この映画の主人公ジョニー・キャッシュや伝説となったと言われているフォルサム刑務所でのコンサートは知らないはず。ましてや生涯のパートナーとなった女性との恋物語も知らないはずだが、そんな私たちがこの映画から学び、感動できることは……？ 1950年代のロックンロールをホアキン・フェニックスとリーズ・ウィザースプーンが現実に自分でやっていることにはただビックリ！さて、あなたの採点は……？



## エルヴィス・プレスリー VS ジョニー・キャッシュ

日本人なら誰でもエルヴィス・プレスリーは知っているが、この映画の主人公ジョニー・キャッシュを知っている人は少ないのでは……？ パンフレットを読むと、彼は1950年代に活躍したエルヴィス・プレスリーと全く同世代のロックンロール歌手であり、ミック・ジャガーやボブ・ディランなどからも絶賛されている歌手であることがわかるが、なぜか日本では影が薄い……？ この映画のタイトルのもとになった『アイ・ウォーク・ザ・ライン』も、彼のヒット曲の1つということだ。

この映画は、そんなジョニー・キャッシュの伝説映画。2004年にはレイ・チャールズの生涯を描いた『Ray / レイ』が大ヒットし、アカデミー賞最優秀主演男優賞を受賞したことを意識しているのか(？)、この映画のパンフレットには「本年度アカデミー賞最有力作品」と謳われている。しかし、ジョニー・キャッ

シュがエルヴィス・プレスリーやレイ・チャールズほど有名でないということは、かなり大きなハンディキャップ……？

## 君はフォルサム刑務所でのライブを知っているか？

エルヴィス・プレスリーは不良っぽいイメージで人気を獲得したが、このジョニー・キャッシュも雰囲気的には同じ……？ 映画の冒頭、フォルサム刑務所内でジョニー・キャッシュの登場を待って、歓声をあげている囚人たちの模様が登場する。そして、刑務所の作業場内で電動ノコギリをじっと見つめながら昔を思い出し、精神を集中させているジョニー・キャッシュの姿が。

ジョニー・キャッシュがロックンロールの歌手として大成功するまでには、数々の苦い体験があったわけだが、今彼はそれらをすべて乗り越えてこのライブに臨もうとしているわけだ。

このフォルサム刑務所でのライブコンサートを録音したレコードは、大ヒットし、ゴールド・レコードの売り上げを記録したとのこと。そんなフォルサム刑務所でのライブを、君は知っているか……？

## 印象深いジョニー・キャッシュの顔

この映画でジョニー・キャッシュを演ずるのは、『グラディエーター』（00年）や『炎のメモリアル』（04年）で印象的なホアキン・フェニックス。私は決して彼をハンサムだとは思わないが、印象に残る顔であることはたしか。レイ・チャールズを演じたジェイミー・フォックスが、レイ・チャールズの歌としぐさに近づくためにどれほどの努力をしたかは、『Ray / レイ』のパンフレットを読めば明らか。

それと同じように、1950年代の現実のロックンローラーであるジョニー・キャッシュの生涯を演ずるとなると、まずはその歌を歌うのが大変。さらに、いつも手に持っていたというギターを持つ姿がサマになるのも大変。ジョニー・キャッシュがこんな低音で歌っていたのかどうかは知らないが、ホアキン・フェニックスが吹き替えでなくすべて自分の声でジョニー・キャッシュの曲を歌い切ったというから、驚きだ。

## リーズ・ウィザースプーンの変身(?) ぶりにビックリ!

この映画で、ジョニー・キャッシュの仕事上のパートナーであるとともに、ジョニー・キャッシュから再三再四(40回?)求婚を受けるジューン・カーターの役を演じているのはリーズ・ウィザースプーン。このリーズ・ウィザースプーンは、『メラニーは行く!』(02年)、『キューティ・ブロンド/ハッピーMAX』(03年)のヒットで大スターとなった女優だが、この役柄当時は元気でグラマーな女性という印象が強かったはず……。

しかしこの映画では、子供の時から舞台上に上がっていた芸能人一家の娘でありながら、今は2人の子持ちのシングルマザーとしてしっかりと生きている女性像を見事に演じていることにビックリ。そのうえ彼女は、華やかなロックンローラーとしての活躍のウラに隠された傷つきやすく弱いジョニー・キャッシュの心の支えになる役割までも……。

そしてもちろん、このリーズ・ウィザースプーンもジューン・カーターの歌をすべて自分の声で歌い切ったとのこと。いや～、立派立派……。

## 夫婦は趣味が合わなければ……?

この映画を観ていると、ジョニー・キャッシュは、その血液型が典型的なA型ではないかと思われるほど真面目な男……。したがって、初恋の女性ヴィヴィアン・ロベルト(ジニファー・グッドウィン)と結婚することができ、子供にも恵まれた彼は、理想的な家庭を築くことができるはずだと思ったのだが……。なぜそれができなかったのか……。それは、家族を支えていくうえで最も大切な経済力という問題。そこでヴィヴィアンから「父親の仕事を手伝ったら」と言われてそうしたのは、男がすたるというもの……?

そんなジョニー・キャッシュの唯一の息抜き・楽しみは、友人と組んだバンド演奏。しかしこの趣味がヴィヴィアンには全く気に入らなくなると、この夫婦の仲はかなりヤバイ。そしてこの夫婦間の葛藤は、ジューン・カーターの登場によってさらに深刻に……。

やはり、夫婦は趣味が合わなければ……。

## 歌手にはヤクが不可欠……？

セールスマンの仕事が全く性に合わないジョニー・キャッシュが、ある日飛び込んだのがまちで見かけたサン・レコード。そこでジョニー・キャッシュの歌を聴いたのがサム・フィリップス（ダラス・ロバーツ）。このサム・フィリップスから、「ゴスペルは時代遅れ」「聴いた人間が一生忘れない曲を歌え」と言われたジョニー・キャッシュが、そこで歌った曲は……？

歌手として大成功をおさめても、その地位を保っていくためのプレッシャーは相当なもの。したがって、歌手にはヤクが不可欠……、などと誤った理解をする傾向があるが、それはもってのほか……。『Ray / レイ』で描かれたレイ・チャールズも、一時期ヤク中毒になっていたが、このジョニー・キャッシュもそれは全く同じ。そして日本にもこれと同類の歌手（芸人）も、たくさんいるよう……。しかし、ヤクに振り回されているジョニー・キャッシュの姿を見ていると、私は同情よりも先に、「何と情けない奴だ！」と思ってしまうのだが……。

## 彼のトラウマは……？

誰でも、大なり小なり子供の時に受けた心の傷を持っているもの。私の場合それは〇〇、△△だが、ジョニー・キャッシュの場合は、いつも一緒に遊んでいた兄の死。その悲惨な事件や、それによって彼が受けた心の傷の大きさなどは、映画を観て理解してもらいたいが、この兄の死が弟であるジョニー・キャッシュの心にトラウマとして残ったのは当然。そしてこれは、両親とりわけ父親のトラウマとしても残ることに……。その結果、父親と生き残った息子との男同士の関係は……？

## ジョニー・キャッシュとジューン・カーターとの愛は少し難解

この映画のテーマは、ジョニー・キャッシュとジューン・カーターとの愛。現実に1968年に結婚した2人は、以降2003年に71歳で死亡するまで音楽活動を続けながら、ずっと仲良く暮らしたということだから、多分もともと「相性」は1番良かったのだろう……。しかしこの映画を観ている限り、この2人が結婚に至る

のは、至難の業だと思わざるをえないもの。だって、ジョニー・キャッシュはプロ歌手としてデビューした時には、既に結婚していたし、ジューン・カーターも結婚し2人の子供までいたのだから。そのうえジューン・カーターは、一緒に音楽活動を展開している最中に再三モーションをかけてきたジョニー・キャッシュを嫌がって、別の男性と再婚したほどなのだから……。

映画の中に再三登場してくるプロポーズの場面を見ても、「何とヘタな口説き方をしているんだ」と思わざるをえないほど、その口説き方はヘタ……。これではジューン・カーターが嫌がるのも無理はないと思ってしまう。

したがって、大勢の観客が観ている舞台の上で、マイクを通してのプロポーズという40回目(?)のチャレンジも、「こりゃダメだわ」と思いながら私は観ていたのだが……。このように、この映画でのジョニー・キャッシュとジューン・カーターの愛の展開は、少し難解……。

2005(平成17)年12月9日記

#### ミニコラム

### 似てる、似てない？ 伝記映画の主演俳優イロイロ

『キネマ旬報』06年4月下旬号は、恒例のアカデミー賞予想&結果座談会で、3人の専門家が言いたい放題……？ ここで面白いのが「似てる、似てない」の議論。口火を切ったのは、主演男優賞を受賞した『カポーティ』のフィリップ・シーモア・ホフマンについて「何の意外性もないというか、今年は有力なライバル候補がなかった」の発言に続く、「彼はカポーティには本当にそっくりだったね、頭のてっぺんから声を出して(笑)」との発言。伝記映画では、似てる似てないはやはり重要な要素。『Ray/レイ』のジェイミー・フォックスも『エリン・

ブルコビッチ』のジュリア・ロバーツもよく似ていたが、『アビエイター』のレオナルド・ディカプリオが主演男優賞をとれなかったのは、ハワード・ヒューズに似てなかったせい？ それと同様にホアキン・フェニックスが主演男優賞をとれなかったのは、「ジョニー・キャッシュの後ろ姿だけしか似ていなかったから」らしい。もし本当にそうなら、そりゃ仕方なし。もっとも、プレスリーならともかく多くの日本人はジョニーの顔を知らないから、本当はどうなのかわからないのが、ちと残念……？

2006(平成18)年4月19日記